

交流のひろば

おたより コーナー

冒険遊び場で

わたしも成長

国領町二丁目 大島 絵里 18

わたしは、人の役に立つことが好きで、将来は介護の仕事に就きたいと考えています。その一方で、大人になるにつれて、心の中に冷めた部分があると感じていました。冒険遊び場の企画を知ったのは、自分の適性に悩み始めたちょうどそのときで

まちのニュース NEWS

組別対抗の 野球で交流

駒形町

駒形町自治会では五月十二日、同町民グラウンドなどで組別野球大会を行いました。この大会は住民の交流を図ることが目的で、今回が四十一回目。小学五年生以上であれば男女問わず出場できるとあって、三百人が参加しました。

した。自分の中の何かが変わること
を期待して、参加を決めました。

初夏の日差しの下、たくさんの親子連れや自分なりの工夫をして積極的に遊んでいる子どもたちを見てみると、わたしもこの中に交わり、楽しみたいと思うようになりました。火おこしなど、初めての体験ばかりでしたが、わたしたちボランティアが楽しんで遊んだり、作業したりしていると、自然に子どもが集まってくるのがうれしかったです。

子どもに接するのは理屈ではないと気付いたとき、自分の中で何かが変わるのを感じられました。これからは常にチャレンジ精神を持ち、自分自身が楽しみながら、子どもたちや自然と触れ合う機会をつくっていききたいと思います。

同町内の組数は十八。それぞれがチームを作り、六チームずつ三つのブロックに分かれて対戦します。いずれの試合も白熱した展開で、好プレーには相手側からも拍手が。優勝チームや個人賞受賞者には、トロフィーなどの記念品が贈られました。同町の岡崎紘一自治会長は、「三年前から三つのブロックに分けました。そうすれば、優勝や各個人賞も三つになって、より多くの人が優勝の喜びを味わえるし、個人賞も増えますからね。終了後の親ほく会も含めて、みんな、この大会を楽しみにしているんですよ」と話していました。



まえばしの動物植物 ②

トウキョウダルマガエル

市自然環境保全推進委員

金井 賢一郎



関東ではよく知られたカエルで、トノサマガエルという別名で呼ばれています。平地に生息し、水田などの水辺付近からほとんど離れません。親の体長は六〜七。背面には緑や白色の縦しまと、黒い斑点があります。産卵期は六〜七月。直径約一・五の卵が固まりになったものを、何回かに分けて、水底に産みま

す。本市では水田地帯でよく鳴き声を聞きますが、稲作の減少で生息地が少なくなっています。今年の夏は、「ンゲゲ」というにぎやかな鳴き声を聞きながら、水田の風物詩を楽しんでみませんか。